

2020年11月12日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社

北海道当別町

ドローンによる農作物運搬実用化に向けた実証実験を実施 農業従事者の負担軽減のため実験と協議会を通して検討、3年後の実現へ向けて

ブルーイノベーション株式会社（本社:東京都文京区、以下ブルーイノベーション）と北海道当別町は11月12日、ドローンを使って、生産農家から町内の道の駅「北欧の風 道の駅とうべつ周辺（北海道石狩郡当別町当別太774番地）まで白カボチャ、大根などの農作物を運ぶ実証実験を行いました。実験は環境省・国土交通省の連携事業「過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化事業」（以下、本事業）の一環で、20キロの荷物を運べる物流用ドローンを使用して、朝の出荷を想定して生産農家2か所をたどり農作物を道の駅まで運びました。

当別町では農業従事者の高齢化や人手不足の問題が懸念されており、収穫物の出荷・運搬作業の効率化や、輸送時間を削減するなど、農業従事者の負担軽減が求められています。今回の実験の結果を通して、今後、本事業では、地元企業、農協などで構成する協議会内で課題を洗い出し、技術やコストを検討し、3年後の実用化を目指してまいります。なお、本事業は北石狩農業協同組合、経済産業省北海道経済産業局、北海道ドローン協会にご協力いただいております。

■実証実験の概要

日時；2020年11月12日午前

場所；北欧の風 道の駅とうべつ周辺(右図参照)

北海道石狩郡当別町当別太774番地

機体；SkyDrive社製「カーゴドローン」

実証実験の目的；

- ・事業化に向けたビジネスモデルの検討
- ・次年度以降の開発項目の洗い出し

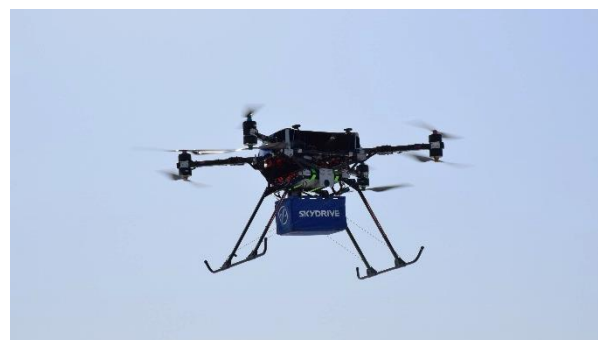
実験内容；

- ・朝の出荷を想定ユースケースとして、20kg運搬可能なドローンを使用し、農家から別の農家を經由しつつ道の駅へ運ぶ

今後の展開；

- ・協議会を中心に、ドローン活用の利点、欠点を今回の実験もふまえて再整理し、作業時間、労働負担、費用、機体運用や管理、安全確保など多面的に検証点を洗い出し実用化に向けて検討を進める

<物流ドローンの飛行ルート>



■「過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化事業」について

本事業は、環境省・国土交通省連携事業として、補助を受けて実施するもので、社会的な課題をドローンで解決し、利便性の向上や地域内の活性化を目指すものです。当別町内においては、基幹産業である“農業“に対して地域が抱える課題を抽出し、解決策を様々な角度から検討していくものです。3年後にはドローンによる安全な農作物の運搬を軸とするビジネスを成立させることを目的としています。

本事業を通して、当別町の抱える下記の課題の解決を目指します。

1. 運搬にかかる人件費や時間の削減
 - ・ 農家から集荷場所までの往復に必要な人員の人件費の削減。
 - ・ 複数の農家から集荷場所に同時期に集中する事による駐車場渋滞、受入時混雑による、時間ロスの解消。
2. 農作物運搬の代替による農業従事者の負担軽減
 - ・ 農作物を運搬車に積み込む(積み下ろす)作業にかかる身体的負担の解消。
3. 高齢農業従事者に発生する問題の解決
 - ・ 高齢化に伴い、運転を控えたい(免許を返納したい)にもかかわらず、運搬手段がなくなることから運転せざるを得ない状況の解決。
 - ・ 運転が危険なために「農家を続けられる元気があるのに」辞めざるを得ない状況の解決。
4. コロナ禍におけるソーシャルディスタンスへの貢献
 - ・ コロナ禍における、集荷所などでの農作物受け渡し時に「人と接触しない」オペレーションへの貢献。
5. 運搬にかかる輸送時排出 CO₂ の削減
 - ・ 運搬車がドローンにとって代わる事で集荷時に排出される CO₂ を削減し地球環境への貢献。



■ブルーイノベーション株式会社 概要

所在地：東京都文京区本郷 5-33-10 いちご本郷ビル 4F

設立：1999年(平成11年)6月10日

事業内容：「ドローン・ロボットを通じて、世界に貢献するグローバルカンパニーになる」をビジョンに掲げ、ドローンの先駆的サービス・プロバイダーとして、複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームである Blue Earth Platform (BEP) を基軸に、点検、警備、物流、教育・安全の4つの分野でサービス展開しています。

URL：<http://www.blue-i.co.jp/>

■北海道当別町 概要

所在地：北海道石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

紹介：当別町は、北海道の中心「札幌圏」に位置しており、札幌都心部からも約 45 分の優れたアクセスを有しています。明治 4 年に仙台藩岩出山藩主伊達邦直公が家臣を率いて入植して以来、本年令和 2 年に 150 年を迎えました。人口は 15,658 人（令和 2 年 11 月 1 日現在）、面積は 422.86 km²となっています。町面積のうち約 20%は耕地面積で、主要農産物は水稲、小麦、大豆など、また、ユリやカーネーションなどの花卉の生産も盛んな町です。また、スウェーデン王国・レクサンド市と姉妹都市になっており、当別町内には美しい北欧の町並みが広がっています。

URL：<https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

【本リリースに関する問い合わせ先】

ブルーイノベーション株式会社 経営戦略室 広報担当 電話：03-6801-8781 E-mail：press@blue-i.co.jp

北海道当別町 企画部 ICT 推進課ドローン係 it-joho@town.tobetsu.hokkaido.jp